

江東区内でさまざまな講座や勉強会に参加している人、以前にも別のところで講師をされていた人だ」という、とても才気あふれる方と出会うことがあります。男女共同参画推進センター講座パルカレッジの12期生である庄司菊江さんも、元気な「江東人」の一人です。

頼まれると断れない性格が活動をより大きなものに

庄司さんの活動ジャンルは創設して30年になる江東絵本同好会をはじめ、つながるカフェおとなりさんち、パルカ

江東のひと

【江東絵本同好会・和楽会代表 ほか】

庄司菊江さん

地域の皆さんとコミュニケーションを図ることが、私にとっての何よりの生き甲斐です

いくつ活動しているのか指折り数えてみたら15個近くあって、自分でもびっくり(笑) 気が多くて困ります。」

「独居高齢者の孤独死をなんとかして防ぎたい」

そんな庄司さんが、最も思いを込めて取り組んでいるのが、4年前から活動を始めたという、さざんかと称するお茶会。近隣で立て続けにお年寄りが孤独死を遂げられたことに心を痛め、なにか自分でできることはないかと考えて、思い至ったのが、独居高齢者を集会所に招いて「コミュニケーション」を図ることだったそうです。「私たちの先輩方は、言ってみれば今の日本



区内の神社について宮司さんにお話を伺う勉強会の事前打ち合わせ。顔がみな真剣です！

の基盤を築き上げてくれた立役者じゃないですか。それなのに、独居のお年寄りに誰も手を差し伸べようとしない。

ならば、自分で声をかけようと思ったんですね。」

月1ペースで始めたさざんかも、はじめのうちはなんと4、5人集まるのが精一杯。なかには、何度誘っても口も聞いてくれなかった方もいる

など、何度も挫折を味わったとか。それでも、参加される皆さんの笑顔と家族に支えられながら、今では平均して15人ほど出席されるようになりました。現在はさらに食事を開催し、薬膳料理を学んで



江東絵本同好会の作品。オンリーワンの絵本は、かけがえない宝物。

いる娘さんの協力も得て、健康管理にも気を配っています。「一人暮らしの男性のなかにはインスタントで済ませる方もいますので、食事はとても喜ばれます。」

これからも、高齢者を支える活動をさらに推し進めていきたいと語る庄司さん。「この活動は私の生き甲斐そのもの。健康増進につながる講習



Profile

江東区東砂在住。男女共同参画推進センター講座パルカレッジ12期生。江東絵本同好会、和楽会の代表を務めるほか、おとなりさんち等、さまざまなサークルやボランティア活動に参加。イベント講師としても多方面で活躍中。◆活動についてのお問合せ ☎(3648) 0857

や、成年後見人制度なども勉強して、いろいろなかたちでサポートしていきたいです。また、さざんかに限らず活動にご協力いただける方、お気軽にお声をかけてください。」

男の料理 火・裁

簡単レシピ

ハンバーグ・ステーキ

Yummy!

もともと食べ歩きが好きで、妻と和食がおいしい店に出かけてランチを楽しんだりしていました。単身赴任の経験もあり、自己流でつくったりしていましたが、理は身近なものだったので、一昨年、パルカレッジで別の講座を受けた時に「男の厨房」の存在を知り、「二度本格的に習ってみたい」と思い、通い始めました。

家でつくる魚料理は家族にも評判 今後はフレンチやイタリアンに挑戦したい

最初は、焼き加減や卵を返すタイミングがわからず四苦八苦しましたが、先生のサポートのおかげでふっくら焼き上がり、とても嬉しかったです。1月12日の「男の厨房」でつくったハンバーグは、肉汁が透明になるタイミングの見極めが難しかったのですが、先生に声をかけてもらって成功。毎回助けてもらってありがたいです。



料理に親しむようになってからは、週に2、3回は台所に立ち、魚料理を中心に作っています。ぶりの照り焼きを習った時は、レシピを少しアレンジしてネギや香辛料を加えて家族にふる

今回の料理人

田中昇さん 東陽町在住



【編集後記】

◆この紙面には、今、男女共同参画推進センターから、区民の皆様にお伝えしたい情報が、ぎゅーっと詰まっています。変わらぬ思いを込めて、ぜひ読んでほしいです。ぜひ読んでほしいです。ぜひ読んでほしいです。

◆いつも身近に読んでいた「こうとうの女性」ですが、パルカレッジ受講が縁で編集する側になりました。「もっとこうすれば読んでもらいたいのでは」と考え、発案するのは楽しい時間でした。(編集委員H)